

[okazaki_32]

| | |
|--------|--|
| 活動タイトル | 北海道高等学校家庭科教育研究協議会におけるグループ別研修を担当 |
| 実施日 | 2008年7月30日 |
| 場所 | 札幌市環境プラザ、家電量販店、北海道環境サポートセンター |
| 対象数 | 18人（北海道内の高等学校家庭科の先生） |
| 内容 | <p>高校の家庭科の先生を対象に、授業に活かせる省エネや地球温暖化防止についてを講義の他に、見学や実験を加えてお話ししました。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 家庭でできる温暖化防止の例を挙げ、衣・食・住の場面での取り組みの重要性から、家庭科は、その全てをカバーするという点で、重要な教科であることを伝えました。2. パワーポイントを使って、温暖化の状況を説明3. 家庭で取り組める行動を、「10のこまめ」を紹介しながら、電気店内の写真を示しながら紹介。4. 省エネ行動が定着するためには、時間がかかることを伝え、早く始めることと、皆に伝えていくことの重要性を伝えました。5. ワットチェッカーで電気ポットやドライヤーの消費電力を測定し、電気を熱に変える機器の消費電力量の大きさを説明したり、省エネ電球と白熱電球の消費電力や照度の測定をして、違いを実際に目で見て理解してもらいました。6. 札幌市環境プラザで、太陽光発電パネルを見学し、職員の方から説明を受けました。7. 札幌市環境プラザの省エネ設備（センサー付きの階段照明）を体感したり、ハウススタジオで待機電力について説明しました。8. 路上の自動販売機の消費電力をチェック。年間消費電力量の表示のある自販機だったので、一般家庭の消費電力と比較して説明。日射の強い場所に置いていると消費電力量が増えることを説明し、関連して冷蔵庫の置き場所や日射を避ける工夫を説明しました。9. ヨドバシカメラ札幌店で、充電式の電池、冷蔵庫や省エネ電球、暖房便座、テレビなどの省エネ家電の取り組みや統一省エネラベルを説明しながら見学しました。10. 北海道で実施している「環境行動チャレンジ運動」の登録の呼びかけ11. (財)北海道環境財団の作成した1人1日1,1kgの削減シートの記入を行い、その後参加者の感想を共有しました。 <p>* 昨年の8月に、講座の内容についての相談を受け、実施までに3回の打合せを行った企画でした。参加者からは、授業に役立つヒントがたくさんあったとの感想を得ることができ、主催者の方にも喜んでいただけ、嬉しく思いました。</p> <p>私にとっても、家庭科と温暖化防止のつながりを再認識したり、昨年実施したプログラムを改良し、見学に加えて、講義と実験・振り替えりの時間を取った内容で実践する良い機会となりました。</p> |

実施写真等